



③古川まつりで毎年人気のあめ細工④30年以上にわたり台東区伝統工芸振興会と東京都伝統工芸品産業団体連絡協議会の会長を務めている江戸簾伝統工芸職人 田中 義弘さん



## ぴかいち

人、物、技、場所などを選び出して紹介するコーナー「ぴかいち」

# 江戸下町職人展

姉妹都市「東京都台東区」の江戸文化と鍛え抜かれた職人の技を伝えます



①美しい浮世絵を再現する江戸版画②「毎年、職人さんが来るのを楽しみにはさみを研いでもらいます」と語るお客さん。江戸打刃物の切れ味と使いやすさは天下一品



### ◆江戸下町職人展◆

全国こけし祭り・鳴子漆器展で「江戸下町職人展」が開催されます。

日時 九月一日(土) 十時三十分～十八時

(実演は十七時まで)

九月二日(日) 九時～十四時

場所 鳴子小学校体育館

全国こけし祭り実行委員会事務局  
(鳴子総合支所観光建設課内)

☎2026

「東京都台東区」は、江戸時代から庶民の町、江戸文化発祥の地として栄え、今なお、神社仏閣など江戸の面影が数多く残る町です。当時は芝居小屋などもあり人の集まる華やいだ町で、隅田川によって材料も入手しやすかったことから、歌舞伎用道具や町人の生活道具などを作る職人が集まりました。親子三代にわたって江戸下町に生まれ暮らした町人のことを「江戸っ子」と言い、代々職人の技が受け継がれてきました。

江戸押絵羽子板や、江戸簾、江戸版画など、現在、台東区の伝統工芸品は三十種類を超え、九十人以上の職人が江戸文化を守っています。

昭和五十七年六月、東北新幹線が開業したことを契機に、翌年には上野駅がある東京都台東区から伝統工芸職人が集まり、古川で展示即売が催され、古川からも採れたての米や野菜を台東区で販売するなど市民による交流が始まりました。昭和五十九年一月には、東京都台東区と旧古川市は姉妹都市盟約を結び、毎年八月に開催される古川まつりでは、台東区の伝統工芸職人の技をもっと知ってもらおうと「江戸下町職人展」として開催しました。また、現在の台東区から鳴子温泉地域へ学童疎開があった歴史を忘れないため、鳴子温泉地域で開催されている全国こけし祭りにも平成十三年から出展しています。

古川まつりや全国こけし祭りに毎年出展している職人の一人、江戸簾伝統工芸職人の田中義弘さんは「資源がない日本は昔からものを使い分けていた。包丁などの種類の多さを見ると、目的ごとに道具を作り手入れをしながら長年大事に使っている」と話します。台東区の職人は、日本のものづくりの技術や製品の良さを知ってもらうため、海外でも出展しています。日本人観光客が海外で職人の技と製品を知り、帰国してから店に来店することもあったとか。

使う人のアイデアや要望に耳を傾け、伝統を守りながら製品を開発していく伝統工芸職人は、「粋でいなせな江戸のこころ」をこれからも大崎市に伝えます。

あらゆる建設関連職種従事者の国民健康保険 広告

1人親方・個人事業所(5人未満)

- 健康保険料本人月額 14,100円 (35歳未満 8,400円)
- 介護保険料1人 2,000円 ●家族一人あたり 3,500円
- 6人以上免除(但し、20歳以上65歳未満 男性8,000円 女性4,500円)
- 特定健診無料/傷病手当金他手厚い給付

まずはお電話を下さい!

古川建設業組合  
宮城県建設業国民健康保険組合

☎0229-23-7390

そろそろ「お葬式」のこと相談してみようか... 広告

お葬儀の事前相談 承ります(無料)。

あの時、あの場所、あの人の思い出を...

ハートホール 溪雲

大崎市古川北町1-9-5 TEL:0229-23-4040

ハートホール 検索 http://www.hearthall.com

☎0120-342423 365日 24時間 対応いたします。

アパマンショップ全国ネットワークで理想のお部屋へナビします 広告

アパマンショップ古川駅前店

宅地建物取引業:宮城県知事免許(12)1000号(社)宮城県宅地建物取引業協会会員(社)全国宅地建物取引業保証協会会員 東北地区不動産公正取引協議会加盟

http://www.yoitochi.com 〒989-6162 宮城県大崎市古川駅前大通2丁目6番16号

株式会社 古川土地

TEL.0229-23-8484 ☎0120-2-8484-2(携帯・PHSからも通話可)

創業 昭和47年 不動産と建設の総合力で地域に貢献いたします。